

## 守りたいのはどんなところですか？

～まずはじっくり調査をしよう～

今、この場所が失われてしまっでは取り返しがつかないとあなたが心配している理由は、たとえば、人々の心にとってたいせつな風景だから？ イヌワシやオオタカのような猛禽類を頂点とする豊かな生態系だから？ または歴史的な由緒のある建物だから？ ほかにいろいろあるでしょうが、あなたが残したいと考える価値はそのどれですか？ それはたしかに、残すべき価値でしょうか？

その場所は、土地開発業者に買われようとしているのでしょうか？あるいは所有者が、相続税を払えなくて困っているのでしょうか？跡継ぎがいなくて手入れのできない山林でしょうか？それとも、転用されそうな公有地ですか？

その場所はどのくらいの広さでしょうか？買うとしたら幾らでしょう？周辺はどんなところで誰が住んでいるでしょうか？そのなかにあなたと同じ考えの人がいるでしょうか？あるいはあなた自身が地主さんなら、誰か相談できる人はいますか？

こうしたことをまず、じっくり考え、調べてみましょう。それには、とりあえず周辺を歩き回り、聴き回ることです。調べていくうちに、「ほんとうにたいせつだから、何とかするべきだ」という確信が深まれば、そこから、活動を始めるエネルギーが湧いてくるでしょう。

あなたの思いが切実なら、同感する人が必ず周りにはいます。

